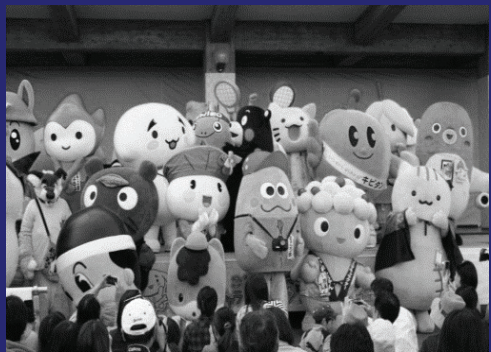


3 産業・雇用分野

～地域資源を生かし産業を育て、雇用を生むまち～



3-1 商業の振興

3-2 工業の振興

3-3 農林業の振興

3-4 観光の振興

3-5 雇用環境・就労環境の充実

3-6 再生可能エネルギーの推進



施策 3-1 商業の振興

めざすまちの姿

市内各地域における商業については、それぞれの地域特性を活かした商業環境づくりにより、商店街等に人が集い、賑わいであらわれています。

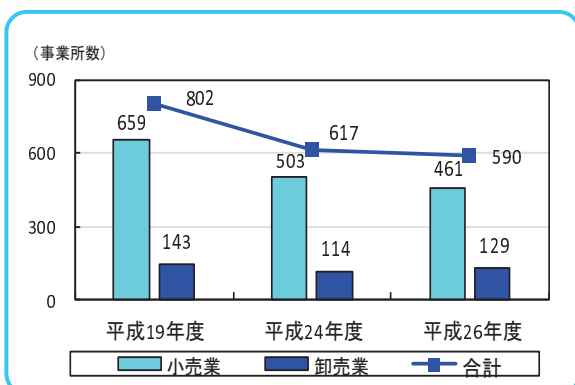
めざす姿の成果指標

指標名	単位	現状値	目標値	方向性
①市内事業所数（小売・卸売業）	事業所	590	590	現状レベルを維持する
②年間商品販売額（小売・卸売業）	百万円	99,416	94,446	減少を抑制する
③中心市街地・平日歩行者通行量	人/日	1,974	2,073	増加を目指す
④中心市街地・小売業及び一般飲食店事業所数	事業所	174	175	現状レベルを維持する

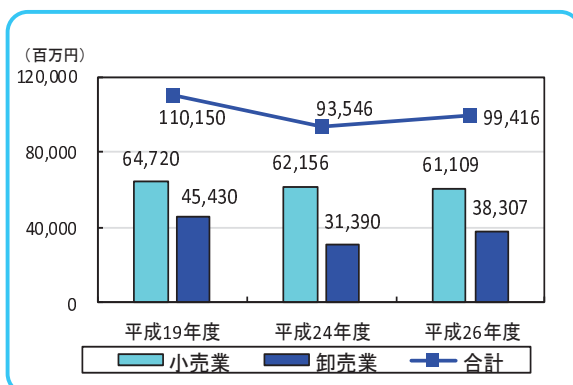
現状と課題

- 東日本大震災以降、市内卸売業の事業所数及び年間商品販売額ともに持ち直しを見せているものの、小売業については、それぞれ減少し続けています。
- 地域を支える中小企業・小規模事業者は、地域の活性化やコミュニティの維持に大きく寄与していますが、経営者の高齢化や後継者不足等が影響し、廃業する事業者が増えることが予想されることから、経営基盤の強化や事業承継の円滑化によって事業継続を支援するとともに、起業・創業の促進によって、新たな事業者の定着を図る必要があります。
- 商業振興のためには売上げの増加が重要であることから、商店街をはじめ各地域の小売店舗において、消費者ニーズに応えた個店の魅力づくりや地域特性を活かした新商品・新サービスの提供、地域内外への取引拡大を推進します。
- 中心市街地においては、市立図書館やイベント広場などの既存施設に加え、コミネスやマイタウン白河がオープンするなど、賑わい創出の拠点づくりが進んできています。
- 今後は、中心市街地全体へ賑わいを波及させるため、各拠点施設の連携及び活用により、一年を通して集客・回遊が定着するための取組みが求められています。

市内事業所数(小売・卸売業)の推移



年間商品販売額(小売・卸売業)の推移



資料：経済センサス、商業統計調査



■ 主要な取組み

取組み		内容
①	小売店舗の維持	小売店舗の経営基盤の強化と安定を図るため、商工会議所・商工会と連携し、各種融資制度や経営相談・経営指導体制等の充実を図るとともに、事業承継の円滑化や起業・創業支援の充実を通じて、新たな事業者の定着を図ります。
②	売上げの向上	中心市街地や周辺部の商業地について、地域の特性を活かした新たな商品やサービスの開発と提供、市民ニーズに応えた魅力ある店舗づくり、地域内外への取引拡大などを通じて売上げの向上を図ります。
③	中心市街地の活性化	市立図書館やイベント広場などの既存施設に加え、コミネスやマイタウン白河などの新たな集客拠点を核とし、これらを結んで、中心市街地全体の回遊性の向上に繋げるため、商工会議所や商店会などとの連携を密にし、各種ソフト事業を推進するとともに、民間まちづくり活動に対する支援の充実に努めます。

■ めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”

取組み	主体	期待される波及効果
① 大規模な店舗にはないコミュニティや伝統文化の維持、商店ならではの地域に密着した商業サービスの提供を推進し、必要性を十分認識した市民の積極的な利用によって地域商業を支えます。	市民、団体、商店	主要な取組み：①、② 成果指標：①、②
② 地元中小企業を中心に構成する商工会議所・商工会、まちづくり会社である楽市白河、商店を代表する商店会連合会など関係団体と情報の共有を図り、連携強化することによって一体的かつ効果的な商業振興を推進します。	商工会議所・商工会、商店会、商店会連合会、まちづくり会社	主要な取組み：①、② 成果指標：①、②

【主な部門別計画】 白河市中心市街地活性化基本計画
白河市商業まちづくり基本構想

施策 3-2 工業の振興

めざすまちの姿

企業の立地により、多彩な産業が集積し、地域経済の活力が維持されています。
市内企業の経営基盤が強化され、製造品の付加価値が向上し、競争力が高まっています。

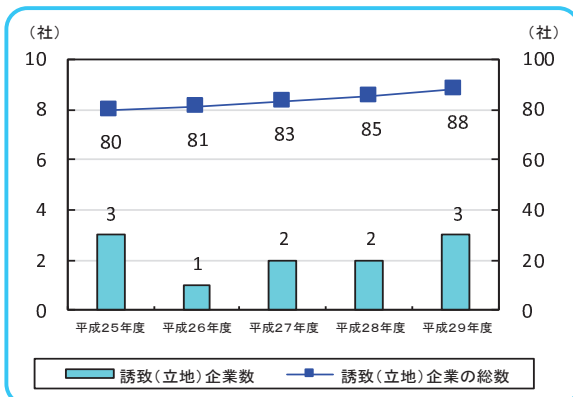
めざす姿の成果指標

指標名	単位	現状値	目標値	方向性
①誘致企業数（増設を含む）	社	88	93	増加を目指す
②製造業の雇用者数	人	7,161	7,877	増加を目指す
③製造品出荷額等	百万円	284,433	312,876	増加を目指す
④ものづくり講習会の受講者数	人	196	200	一定レベルを維持する

現状と課題

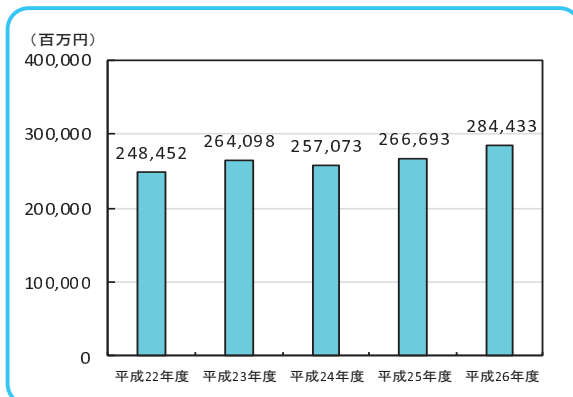
- 東日本大震災以後、国・県の補助金が充実し、市の優遇制度と併せて企業誘致は概ね好調となっています。工業の森・新白河B・C工区が完売となり、新白河ビジネスパークの分譲率も7割を超えるなど一定の成果を挙げています。また、ヤフー（株）はデータセンターの増設を行うなど、これまでに誘致した企業の間では工場等の増設を行う動きも相次いでいます。
- 本市の地理的優位性、活断層が確認されていない強固な地盤など自然災害に対するリスク分散の地として最適であることなどを、首都圏や関西圏の企業を中心に広くPRしていくことが必要です。
- 福島県とともに「地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律」に基づき基本計画を策定し、本市の特性を活かし、成長ものづくり分野である医療機器、航空機・宇宙関連産業、新素材関連産業を特に誘致するとともに、第4次産業革命と言われているIoT（モノのインターネット）*、AI*、ビッグデータ*に関する産業のような非製造業産業の誘致にも力を入れていく必要があります。
- 本市の工業が持続的に発展していくためには、企業誘致だけではなく、工場等操業開始後も継続して支援を図る必要があります。また、地元企業と取引の斡旋等の交流を進めていくことも求められています。
- 少子・高齢化により、労働人口が減少しており、人材の確保が急務となっています。また、就業後も社会経済情勢の変化に対応できる人材を育成していく必要があることから、ものづくり講習会や技術講習等を開催し、企業が求める人材の育成を図っています。

誘致（立地）企業数の推移



資料：商工課

製造品出荷額等の推移



資料：工業統計、経済センサス



■ 主要な取組み

取組み		内容
①	企業誘致の推進	地域経済へ波及効果が期待できる企業の誘致を図るため、地域特性や工場適地、税制上の優遇措置、各種環境面での企業立地の優位性をPRします。
②	企業への支援の充実	企業からの要望を的確に捉え、その発展に寄与する充実した取組みを展開するため、産業サポート白河*等と連携し、企業情報の収集や各種支援事業の情報提供等、企業が求める支援事業に迅速に対応するよう努めます。
③	担い手の育成	<p>高校生は、自宅から通勤できる範囲での就職を強く希望しており、このような高校生に対して、市内の企業情報を提供するとともに、併せて知名度が低くても優れた中小企業があることを知ってもらうよう努めます。</p> <p>就業者のスキルアップや就業に必要な能力・技術の向上を図るため、産業サポート白河等との連携により、企業が求める各種セミナーを開催します。</p>

■ めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”

取組み	主体	期待される波及効果
① 産学官*連携や異業種交流などの必要性についての認識を深め、企業懇談会等へ積極的に参加するなど、相互の企業発展につなげるきっかけづくりに努めます。	企業、産業サポート白河	主要な取組み : ② 成果指標 : ①、②、③

施策 3-3 農林業の振興

めざすまちの姿

安全で付加価値の高い農産物が生産され、地域の特色を生かした農業が展開されています。将来を担う農業従事者が育ち、農業で安定した収入を得られる環境が整っています。

めざす姿の成果指標

指標名	単位	現状値	目標値	方向性
①担い手への農地集積率	%	36.1	55.0	増加を目指す
②認定農業者*数	経営体	333	340	現状レベルを維持する
③認定新規就農者数	人	24	39	増加を目指す
④市内農産物直売所の販売額	百万円	789	794	増加を目指す
⑤集落営農*組織数・農業法人数	団体・法人	32	37	増加を目指す

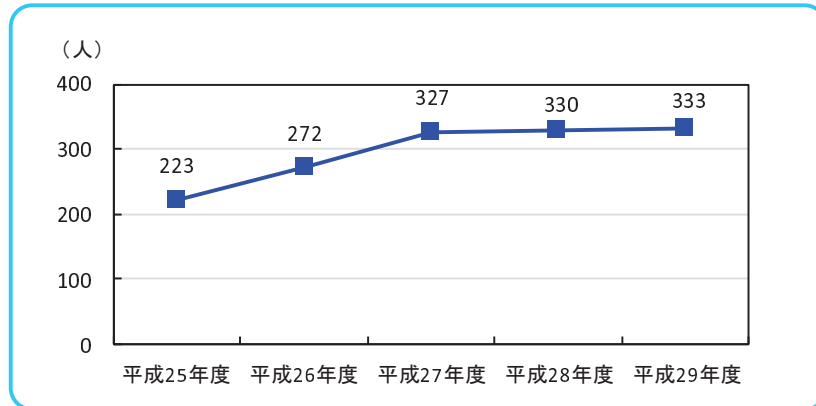
現状と課題

- 高齢化と人口減少により、農業の担い手不足、耕作放棄地の増加、農村社会のコミュニティ機能の低下が進んでいます。このため、本市では、水稻を中心とした兼業農家が大半を占めていることから、担い手の育成及び優良農地の確保とともに、需要に応じた米の生産が課題となっています。
- グローバル化の進展に伴いこれまで以上に安価な農産物の輸入が見込まれ、また、ライフスタイルの変化を反映し、消費者ニーズの多様化や高度化が進んでいることから、付加価値の高い農産物や加工品の生産・販売を支援していく必要があります。
- 消費者の食に対する安全・安心への関心が高まる中、原発事故に伴う風評の払拭には未だに至っておらず、農産物の販売環境は厳しい状況が続いているため、地元農産物の消費拡大や安全・安心な農産物の供給・PR活動を継続して実施することが求められています。
- 農業生産基盤の整備が進む一方、早期に整備された農業用施設の経年劣化が進んでおり、計画的な修繕・改修が求められています。
- 農地の保全や農村環境の向上のため、地域資源に配慮した農村環境の保全を図る必要があります。
- 原発事故以降、野生鳥獣の生息域が拡大し、急速に生息数が増加している一方で、狩猟者の減少・高齢化により、農林業における被害が深刻化しつつあります。
- 森林の持つ水源かん養*や地球温暖化*防止など多面的な機能を継続的に発揮させるため、森林を適正に管理しながら、林業の振興に努める必要があります。



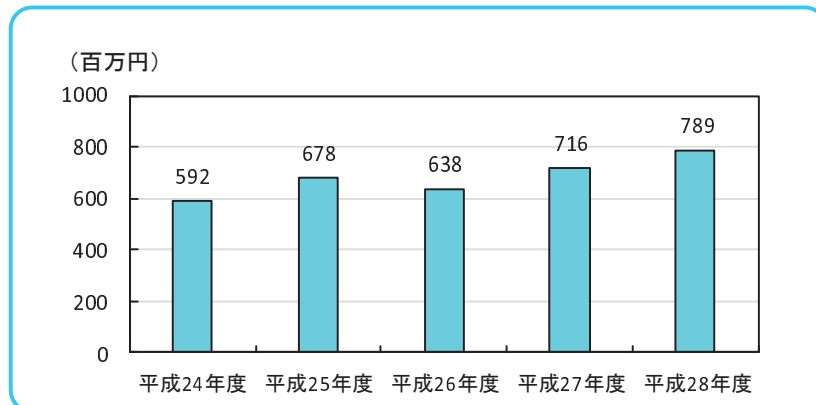
3 産業・雇用分野 ～地域資源を生かし産業を育て、雇用を生むまち～

● 認定農業者数の推移



資料：農政課

● 市内農産物直売所の販売額の推移



資料：農政課

総論

産業・雇用分野
分野別計画

重点戦略プラン

資料編

■ 主要な取組み

取組み		内容
①	担い手の育成・確保と農業経営の安定化	<p>地域農業の中核的な担い手である認定農業者の育成・確保を図るとともに、地域の実情に応じた集落営農組織の育成や農業者の法人化とその後の経営発展に取り組みます。</p> <p>農業参入の手順、経営ノウハウ、技術習得など就農に必要な支援を行い、若者をはじめとする新たな担い手の就農機会の拡大と定着化を図ります。</p> <p>振興作物の生産拡大と需要に応じた米づくりを推進するとともに、ICT*等の先端技術や高性能機械の導入などの支援により、安定的な農業経営を促進します。</p> <p>優良農地を確保するとともに、担い手への農地の集積・集約化を推進し、農地の有効活用を図ります。</p>
②	ブランド化・高付加価値化の推進	<p>市内の優れた農産物や加工品を数多く発掘し、様々なPR活動も含め、多角的な販売戦略を展開することで、ブランド化と高付加価値化を推進します。</p> <p>地元農産物を活用した商品開発などに対する支援を行い、農業の6次産業化*を推進します。</p>
③	安全・安心な農産物の提供と情報の発信	<p>農産物に対する原発事故による風評の払拭により一層の消費拡大に向けて、環境に配慮した農産物の生産やGAP（農業生産工程管理）*の認証取得などの取組みを推進します。</p> <p>消費者のニーズ等に応じた適切な農産物の放射性物質検査を行い、その安全性を積極的に情報発信します。</p> <p>公設地方卸売市場施設の効率的な運営管理により、市場機能の維持・活性化を図ります。</p>
④	農村環境と農業生産基盤の整備	<p>農村環境の保全・向上のため、地域との協働により、農村の原風景や生態系等の地域資源に配慮した農村環境の整備を推進します。</p> <p>農業生産高の向上のため、水路・排水路等の農業生産基盤の整備に努めます。</p> <p>農林業への被害を軽減するため、地域住民や関係団体と連携を図り、鳥獣被害防止対策を推進します。</p>
⑤	林業の振興	<p>森林の有する多面的機能を維持するため、効率的な森林施業と適正な管理を計画的に推進し、健全な森林資源の維持に努めます。</p>



めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”

	取組み	主体	期待される波及効果
①	地域農業施設の環境整備に努めます。	町内会	主要な取組み：④ 成果指標：—
②	地元農産物やその加工品への関心を高め、知り合いに紹介するとともに、消費への貢献を心がけます。	市民	主要な取組み：②、③ 成果指標：④

【主な部門別計画】 白河農業振興地域整備計画
白河市森林整備計画

施策 3-4 観光の振興

めざすまちの姿

観光施設の整備や観光資源を有効活用することにより、魅力あるまちづくりが行われています。
観光情報の発信やPR等により、市の魅力を体験するため、多くの人が訪れ、交流人口が拡大することで、地域経済が活性化されています。

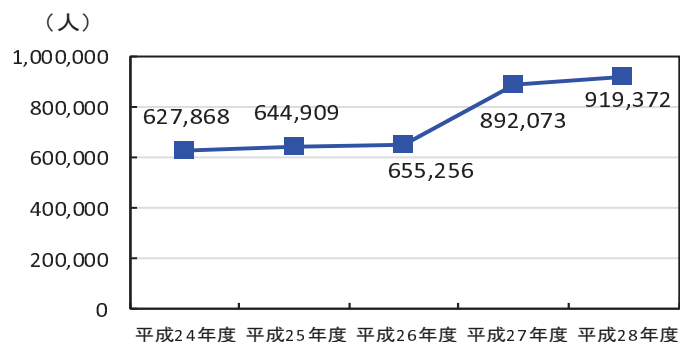
めざす姿の成果指標

指標名	単位	現状値	目標値	方向性
①観光入込客数（主要観光施設）	万人／年	92	110	増加を目指す
②観光入込客数（主要イベント・行事）	万人／年	54	59	増加を目指す
③観光物産協会ホームページへのアクセス件数	件／日	1,503	1,804	増加を目指す
④観光案内ボランティアガイド回数	回／年	370	370	現状レベルを維持する
⑤観光PR出展回数	回／年	17	17	現状レベルを維持する

現状と課題

- 東日本大震災・原子力災害の発生により大きく落ち込んだ本市への旅行者数は、着実に改善しており、震災前の数を上回っています。
- 戊辰戦争後 150 年を一つの契機としてとらえ、また、東京オリンピック・パラリンピックを控え外国人旅行者のさらなる増加も見込まれることから、本市の保有する多くの歴史的資産の活用を図り、首都圏等における観光PR等を積極的に実施し、本市の魅力について、SNS*等も活用しながら情報発信をしていく必要があります。
- 本市は、史跡名勝、社寺等の歴史的建造物から白河ラーメンまで、優れた観光資源を有しており、それらを生かした着地型観光*を推進する必要があります。
- 観光客の受入れ体制づくりを推進するため、幅広い業種の事業者や関連団体との連携を強化するとともに、観光の受入れ側としての意識の醸成を図る必要があります。

主要観光施設の入込客数の推移



資料：観光課、都市計画課



■ 主要な取組み

取組み		内容
①	観光客の誘致	首都圏等でのイベント等において本市の魅力を効果的にPRし、近隣の自治体とも十分に連携を図りながら、震災以降着実に回復している観光客の誘致を促進します。 また、現在交流を進めている台湾からの誘客も含め、インバウンド型観光*にも継続的に取り組みます。
②	着地型観光の推進	既存の観光ルートの見直しや新たに発掘した観光資源を有機的に結びつけ、旅行者のニーズに合った新たな観光ルートを開発・提案することで着地型観光の推進を図ります。
③	関連団体との連携強化	観光客のニーズに応える多様なサービスを提供するため、関連する団体や事業者との連携を強化します。 産業、歴史・文化など地域の特性を生かしたイベントを開催し、継続的な誘客につなげるとともに、各種団体が主体的に行うイベントに対して支援を行います。
④	観光情報の発信と市民意識の醸成	市観光課及び観光物産協会のホームページをより一層充実させるとともに、多様な媒体を活用し、観光施設や地場産品などの情報の積極的な提供に努めます。 市全体で、地域への誇りと「おもてなしの心」を持って観光客を温かく迎えられるよう、その意識の醸成に努めます。

■ めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”

取組み	主体	期待される波及効果
① 観光イベントや観光ボランティアに参画し、観光で訪れた方に「おもてなしの心」を持って接するとともに、観光資源のPRに努めます。	市民、団体、関係機関	主要な取組み : ③、④ 成果指標 : ①、②
② 新たな観光資源の発掘や既存の資源の魅力向上に向けて、市民目線での情報提供・発信を行います。	市民	主要な取組み : ②、④ 成果指標 : ①、②

施策 3-5 雇用環境・就労環境の充実

めざすまちの姿

雇用環境・就労環境の改善が進み、地域の産業に興味を持ち、新たな雇用が発生することで、身近な地域で安定して働くことのできる環境が整っています。
能力の高い人材が多数育成され、地域経済を支えています。

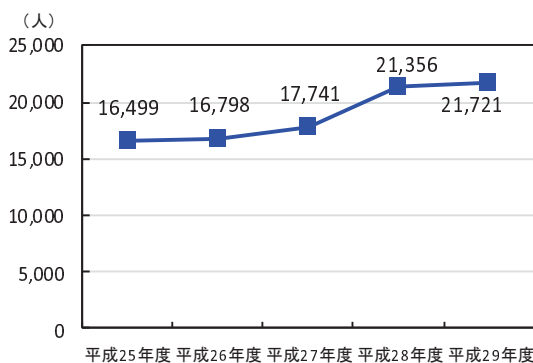
めざす姿の成果指標

指標名	単位	現状値	目標値	方向性
①市内事業所の従業者数 (給与所得者)	人	21,721	23,546	増加を目指す
②正社員有効求人倍率 (ハローワーク白河管内)	倍	0.69	1	増加を目指す
③勤労者互助会会員数	人	124	174	増加を目指す

現状と課題

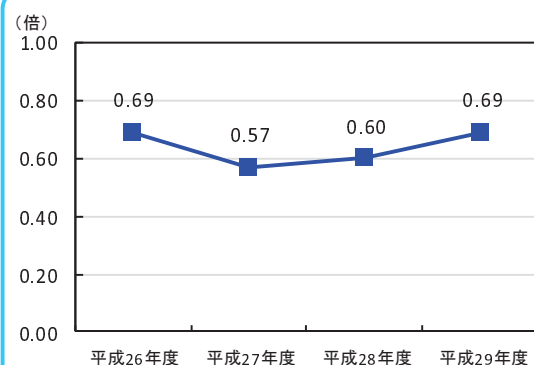
- 東日本大震災後、景気が持ち直し雇用が回復する一方で、少子化によって生産年齢人口が減少に転じ、多くの業種で慢性的な人手不足が発生しています。
- 就職の「売り手市場」が続き、新規高卒者の就職内定率が過去最高を記録するとともに、正規雇用の求人が増加しています。
- 研修や講習会等を通じた中途採用者や企業在職者のキャリアアップ、新規学卒者など若年労働者の技能やコミュニケーションの向上などによって企業への定着を図ります。
- 経営上の都合から労働者の待遇や福利厚生など雇用・就労環境の改善が進まず、必要とする人材の確保が進まない事業所が見られます。

市内事業所従業員数（給与所得者）の推移



資料：税務課

正社員の有効求人倍率の推移



資料：ハローワーク白河（白河管内）



■ 主要な取組み

取組み		内容
①	雇用のミスマッチ解消	求職者に適切な就労情報を提供するとともに、新規学卒者の早期離職を解消するため在学中における就業意欲の醸成や企業へのインターンシップなど、ハローワーク等との連携によって雇用のミスマッチを解消します。
②	労働者のスキルアップ支援	ハローワークや職業訓練校、産業サポート白河、白河商工会議所など各団体との連携により、雇用者・被雇用者が求めるスキルアップ支援を行い、若年労働者などの早期離職の解消や企業在職者の雇用の安定につなげます。
③	勤労者福祉の充実	勤労者互助会の各種事業により労働組合のない中小企業に働く労働者の福利厚生を増進するとともに、人材が不足しがちな中小企業・小規模事業者に対して勤労者互助会制度の普及を図り、就労環境改善による労働者の確保・定着を促します。

■ めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”

取組み	主体	期待される波及効果
① 事業者は、女性や高齢者、障がい者、外国人など多様な人材を積極的に登用するとともに、安全な職場の確保や育児休業、介護休暇制度の整備など福利厚生の充実に取り組みます。	事業者	主要な取組み : ③ 成果指標 : ③
② 事業者はじめ、行政や各支援団体相互の協力により、若者や地域に住みたいと考える市民の希望が叶う就労環境の整備に努めます。	雇用者、被雇用者、ハローワーク、産業サポート、商工会議所、商工会	主要な取組み : ①、②、③ 成果指標 : ①、②、③

施策 3-6 再生可能エネルギーの推進

■ めざすまちの姿

市内でエネルギー需要に見合った再生可能エネルギー*の導入・拡大が進み、自然と共生した安全・安心なエネルギーが確保され、エネルギーの地産地消が実現されています。

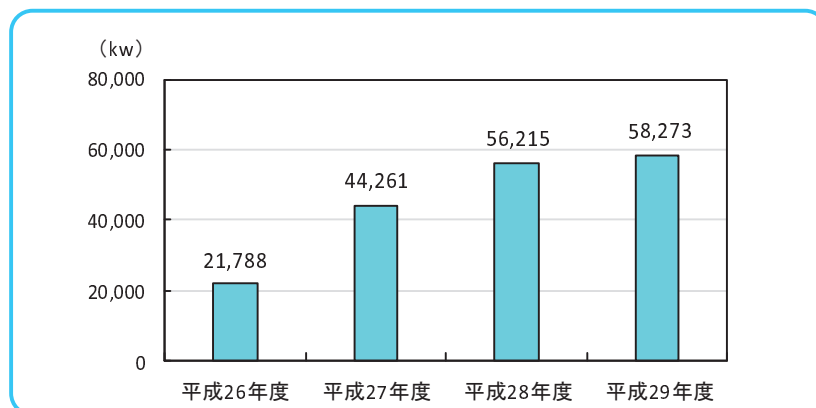
■ めざす姿の成果指標

指標名	単位	現状値	目標値	方向性
① 市内再生可能エネルギー導入量	kw	58,273	94,000	増加を目指す

■ 現状と課題

- 東日本大震災以降、再生可能エネルギーへの期待が高まり、太陽光を中心に再生可能エネルギー発電設備の導入が進んでいます。
- これまでコストなどの問題により導入が進んでいなかった小水力や風力、バイオマス*発電などその他の再生可能エネルギーについても発電機器の進歩により設置が検討されています。
- 再生可能エネルギーを普及させるため、公共施設や一般住宅での発電設備導入や再生可能エネルギー電気の積極的な利用、将来を担う子どもたちへの再生可能エネルギー教室開催などの啓発を積極的に進めています。
- 事業所や工場については、関連する企業の誘致を進めるとともに、省エネによるコスト削減効果の高い再生可能エネルギー設備の導入によって更なる普及を図ります。
- 一方で、ゴルフ場跡地や山林の造成によるメガソーラーの設置など、特に大規模な再生可能エネルギー事業については、地域との共生に配慮する必要があります。

● 市内の再生可能エネルギー導入量の推移



資料：経済産業省資源エネルギー庁



■ 主要な取組み

取組み		内容
①	啓発・導入促進	<p>発電設備導入による再生可能エネルギーの「見える化」や、公共施設での再生可能エネルギー利用促進、小中学校での再生可能エネルギー教室開催などを通じて、再生可能エネルギー推進の啓発に取り組みます。</p> <p>小水力や風力などの再生可能エネルギーは、太陽光に比べコストや発電条件の問題により導入が進まないのが現状ですが、発電機器の進歩を見据え引き続き導入を促進します。</p>
②	関連産業の誘致と多面的な活用	<p>将来性と成長性の高い再生可能エネルギー関連企業の誘致に加え、農業や観光、地域間交流など多面的な活用を促進し、地域産業の振興につなげます。</p>
③	地元企業との連携による推進	<p>地元中小企業が構成する白河地域再生可能エネルギー推進協議会と連携し、エネルギーの地産地消や再生可能エネルギーによる地域経済循環を目指します。</p>

■ めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”

取組み		主体	期待される波及効果
①	地域で消費するすべての電力が再生可能エネルギーで賄えるよう、地域が一体となって推進します。	市民、事業者、行政	<p>主要な取組み : ①</p> <p>成果指標 : ①</p>

【主な部門別計画】 再生可能エネルギー導入推進ビジョン